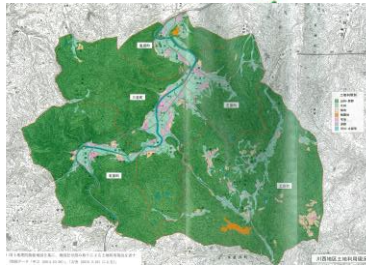
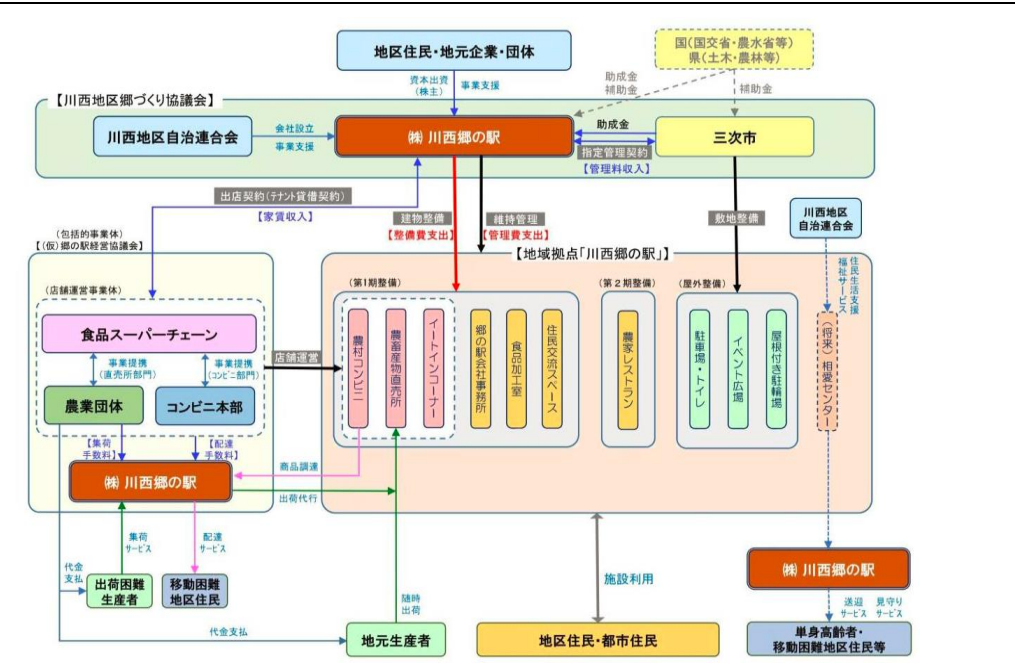


地域名	広島県三次市 ^{みよし} 川西地区 ^{かわにし}	
地域運営組織名	川西地区郷づくり協議会 「株式会社 川西郷の駅 ^{さと} 」	
①地域の概要	<p>川西郷の駅がある広島県三次市川西地区は、市の中心部から約 10 kmの距離にある中山間農村地帯であり、三若町、海渡町、石原町、上田町および有原町の 5 つの町で構成された、川西小学校区を区域とする地区となっている。</p> <p>地域は、美波羅川沿い北方に一端を開く盆地部と、岡田山（標高 638.8m）山地部からなる典型的な中山間農村地帯で、国道 375 号が南北に縦断している。</p> <p>生活サービス機能の集積状況は、川西保育所、川西小学校、川西コミュニティセンター、川西診療所、川西郵便局および三次警察署川西駐在所などが三若町に所在し中心部を形成している。</p> <p>急激な人口減少により生活サービス機能の喪失が進んでいたことから、川西地区 5 集落の住民によって「川西自治連合会」を発足し、拠点整備に着手。自治会内に専門組織を設け、市場の開催など拠点づくりに向けて具体化な活動をしてきた。平成 26 年には地域住民出資による複合型事業体「株式会社川西郷の駅」を設立し、住民主体で地域マネジメント会社を運営している。平成 29 年 7 月には、同社の運営による「川西郷の駅」がオープン予定である。</p>	
②面積・人口・世帯数	<ul style="list-style-type: none"> ・面積： (三次市 78,819ha) ・人口： 1,059 人 (小学校区) ・世帯数： 412 世帯 ・高齢化率： 47.2% (平成 27 年国勢調査時点) <p>資料提供 (株式会社 川西郷の駅)</p>	
③中核施設の概要	施設名称	川西郷の駅
	開設時期	平成 29 年 7 月 (予定)
	設置方法	民設 (三次市の支援により用地取得、施設整備を行う)
	設置主体	株式会社川西郷の駅
	運営方法	民営
	運営主体	株式会社川西郷の駅
	売上額	220,000 千円 (株式会社全体としての総売上額)

機能	施設名	運営主体
買い物	川西郷の駅（平成 29 年 7 月 グランドオープン予定）	株式会社川西郷の駅
交通	平成 29 年度より、地域内交通対策を検討予定（三若町、海渡町、石原町、上田町、有原町エリア）	株式会社川西郷の駅
産業	—	農事組合法人三若 農事組合法人海渡
観光	フルーツの森 平田観光農園	平田観光農園
コミュニティ	—	川西自治連合会
医療	川西診療所	三次市
福祉	小規模多機能型居宅介護サービス	三次市

④拠点エリアに集積している機能

⑤拠点づくりの中心主体



⑥拠点づくりのプロセス

背景、経緯
 急速な少子高齢化で年々減少する人口により、地域拠点を形成する市役所出張所やJA、商店も廃止され、公共交通も通学バスのみで買い物や通勤等が不便な状態であった。事業所がなくなり、生産基盤、集落維持機能の弱体化が進行していた。

手法
 川西地区5集落で組織された住民組織「川西自治連合会」は、積極的な自治活動を行い、平成18年に全住民へ行ったアンケートをもとに地区の将来像を検討し『「まめな川西いつわの里」ビジョン』を策定した。この中で中心エリアに新たに「小さな拠点」整備の構想が明示され、自治会内に拠点づくり専任組織を設置し、専門コンサルティング会社の協力を得ながら具体化した。小さな拠点の検討段階には、月1回の「軽トラ朝市」、週3日「さわやか市」を開催し、拠点づくりのムードを盛り上げてきた。
 平成24年、自治連合会内に拠点づくり専任組織「川西郷の駅づくり推進委員会」を組織、「組織運営」「サービス」「物販」の3部会を設置し、

		<p>「小さな拠点」(川西郷の駅)の整備に向け検討を重ねた。平成25年度国土交通省「集落地域における「小さな拠点」づくりモニター調査」事業を活用し、枠組み構築や集落地域における生活サービス、地域活動の実態把握、住民ニーズの把握などを行う。農林水産省「農村集落活性化支援事業」(平成27～31年度)を活用し、住民主体の将来ビジョンの作成や地域の維持活性化を図る体制構築のために上限1,000万の助成(最長5年)を活用し事業を行う。平成26年、地域住民の83%の出資により複合型事業体「株式会社川西郷の駅」(川西住民960万、地元企業1,162万、地元出身他111万、合計2,233万円)、地域住民による地域マネジメント会社を設立。平成29年7月、住民主体の「株式会社川西郷の駅」の運営により「川西郷の駅」グランドオープン予定。</p>
	サービス・活動	<ul style="list-style-type: none"> ・情報部会(情報受発信、農山村交流、事務処理、会計、企画、運営等) ・暮らし部会(自治、福祉(相愛センター)、交流スペース、ボランティア、地域循環型社会及び防災拠点形成等) ・生産部会(農畜産・林業、6次産業化、加工所) ・販売部会(農村コンビニ、農家レストラン、チャレンジショップ、商品開発、ブランド戦略)
	拠点までの交通手段	地域住民の高齢化により、域内交通の確立が緊急の課題となっている。
	運営	株式会社川西郷の駅
⑦効果	<p>地域住民による将来像『「まめな川西いつわの里」ビジョン』を策定し、地域住民のアンケートから、ニーズの高いコンビニ、ATM(現金自動預払機)などの機能をもつ小さな拠点づくりプランを作成することができた。</p> <p>さらに、地域マネジメントにより、農家所得の向上、女性・若者・高齢者の活躍の場の創出や、生活インフラの整備によるU・I・Jターン者による定住人口の増加、それによる地域の担い手の増加と活性化、雇用者の増加、高齢者の安全・安心な生活の確保などの効果も期待されている。(川西地区郷づくり協議会資料より)</p>	
⑧課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年7月、川西郷の駅グランドオープンにむけて、運営を軌道にのせていくことが、現在は一番の課題となっている。 ・高付加価値生産の仕組みと場づくり、地域拠点と農業、都市農村交流などを結んだ総合的地域コミュニティビジネスの構築や生活基盤等、定住条件の整備及び公共交通による移動手手段の確保など、様々な課題に取り組んでいる。 	

⑨写真



■川西郷の駅 施設イメージ

出典

- ・農林水産省「農村集落活性化支援事業」事例紹介より
- ・国土交通省国土政策局『実践編：小さな拠点ガイドブック』